

心のせんだく

NPO法人 安心院町グリーン
ツーリズム研究会 会報
【第37号】H22.12発行

九州グリーン・ツーリズムシンポジウム 2010 in 大分

12月10日(金)・11日(土)

先進県・大分県の観光カリスマと
九州のグリーン・ツーリズム実践者の本音トーク

九州中のグリーン・ツーリズム実践者が年に1回、一堂に集まるこの大会。今月は大分県で開催されます。県内の観光カリスマとグリーン・ツーリズムに取り組む農林漁業者が集います。初日は県内5カ所で分科会を行い、「食」「組織」「宿」「行政」「修学旅行」のテーマで議論を深めます。二日目は安心院で全体の講演会、シンポジウムです。講演会は無料ですので、ぜひお越しください。

●12月10日(金)

14:00~16:00 会場：亀の井ホテル
「九州内グリーンツーリズム実践者の分科会と交流会」

●12月11日(土)

10:00~16:00 会場：安心院文化会館
「基調講演」10:30~11:10

演題『温故知新～日本昔話よりグリーン・ツーリズムを考える～』

講師 常田富士夫氏 (1975年から放送された「まんが日本昔ばなし」で
お馴染みのナレーター)

「スペシャル対談」11:10~11:40

講師 常田富士夫氏

菊屋奈良義氏 (大分県自然環境保全アドバイザー、
安心院の応援団長 サイドワークとして
子供達の自然との関わりを支えて30年)

《第2回大分・安心院スローフードフェア》

開催日：2011年2月26日(土)・夕方～
場所：安心院中央公民館 / 料金：2500円

グリーンツーリズムニュース

1、安心院グリーンツーリズム物語『しあわせ農泊』

宮田静一会長が出版

「真の豊かさとはなんでしょう」ムラのしあわせを求めて、
家族・仲間たちと歩んだ苦難の、しあわせの、日々を描いた
グリーンツーリズム物語です。島村菜津さん、藤田洋三さんに
背中を押されたことがきっかけで出版されました。
全国の各書店、グリーンツーリズム事務局にて販売しております。



2、日本社会情報学会 合同研究発表大会(平成22年9月5日)で

『社会情報システム貢献賞(団体)』受賞

<<表彰の事由>>

- ① 農村民泊のアイデアがよい
・1回泊まると遠い親戚、10回泊まると本当の親戚
・一日一組の心のおもてなし
- ② 地域活性化の実現
・法的規制緩和の実現
・教育旅行の受け入れと高い教育効果
- ③ “トヨタガズームラ”サイトのブログに高齢主婦多数参加



3、全国地方新聞社と共同通信社による『第1回地域再生大賞』候補

大分県代表に“安心院町グリーンツーリズム研究会”がノミネート

大分県グリーンツーリズム研究会に 新しい仲間が増えました!

大分県グリーンツーリズム研究会事務局に
11月から入りました、澤井友尋です。
25歳、宮崎県出身です。
大分県のために精一杯がんばりますので、
よろしくをお願いします!



頑張ってね!

第6期 大分・安心院グリーンツーリズム実践大学

11月講座<11/20(土)・21(日)>レポート

グリーンツーリズムの担い手育成と、地域へのグリーンツーリズムの普及を目的として、年に5回開講される「実践大学」。グリーンツーリズムに興味を持っている方なら誰でも参加可能です。今回は11月講座2日目の、体験の様子をご紹介します。気になったらお気軽にお問い合わせを!

●11/21(日) 午前の部 @平成の森公園内 農村交流センター 「どじょう料理あれこれ」講師 窪田芳寛氏(「道の駅いんない ゆずの里」店長)

宇佐地域はどじょうの有名な養殖地。農村民泊のお客さまにもふるまえるよう、「どじょうのからあげ」「どじょう汁」などの作り方を教えて頂き、おいしい料理を堪能しました。



●11/21(日) 午後の部 @農村民泊「しいたけ村」 「ビニールひもぞうり作り体験」講師 宮川芳朗氏(農村民泊「しいたけ村」)

農村民泊をする上で、伝統的な工芸体験は押さえておきたいもの。藁が手に入らない時でもビニールひもさえあれば大丈夫。みなさん黙々と熱中し、立派なものことができました。



次回の実践大学は、来年2011年2月5・6日を予定しています。

問合せ先：NPO 法人安心院町グリーンツーリズム研究会 事務局
TEL 0978-44-1158 / FAX 0978-44-0353

2011年 第12回 グリーンツーリズム・ヨーロッパ研修旅行 (オーストリア・ドイツ・パリ)

今回の研修旅行は、オーストリアの農村休暇を実際に体験してみようと考えております。オーストリア西部のスイスに近いブリエントツ州の景観は「アルプスの少女ハイジ」の舞台と同じ風景が広がっています。牧畜を主体とするこの地域では、森林レクリエーションが活発に行なわれており、単なる宿泊だけではないソフト面での実体験できると思います。これまで通りにドイツ西南部のアカレン村にも訪問するだけでなく、パリではフランス農業祭を見学する時間も設けております。旅行代金は例年とおりの経費(22万円)で予定しておりますが、世界的な原油高騰の影響で航空運賃以外に燃油高騰の別運賃など(3万少々)が別途かかります。また、現地での食事代や自由行動時の活動資金などを共通する経費として30,000円を預かりするようにしております。このことを予め含みおきください。定員は15名様ですので、ご希望の方は、早めにご連絡ください。

< 予定スケジュール >

月日	発着地/滞在地	現地時間	交通機関	スケジュール	食事
① 2/17 (木)	福 岡 発 ソ ウ ル 着 発 チューリッヒ 着	10:30 12:00 14:20 20:45	KE-788 便 KE-933 便 専用バス	出国手続きの後、空路、ソウルへ到着後、乗り継いで空路、ウィーン経由でチューリッヒへ[所要/14時間25分、時差8時間遅れ]到着後、チューリッヒ市内のホテルへ <チューリッヒ泊>	朝-機内 昼-機内 夕-機内
② 2/18 (金)	チューリッヒ 発 ブリエントツ 着 ブリエントツ近郊 着	午前 午後 夕方	列車	列車で国境を越えてオーストリアへ到着後、ブリエントツ郊外へ地元農村民泊協会を訪問して、オーストリアの農村休暇現況のヒアリングその後、農家へ <ブリエントツ近郊泊>	朝-机内 昼-機内 夕-機内
③ 2/19 (土)	ブリエントツ近郊 滞 在	終日		終日、自主研修 *希望者はバイオガス発電施設訪問やハイジの里などへの見学も可能です <ブリエントツ近郊泊>	朝-机内 昼-機内 夕-機内
④ 2/20 (日)	ブリエントツ近郊 発 ブリエントツ 発 チューリッヒ 着 フライブルグ 着 アカレン 着	午前 10:06 13:47 夕方	IC196 列車 EC72 列車	ブリエントツ駅へ列車でスイスのチューリッヒへ乗り継いで、ドイツのフライブルグへ到着後、アカレンへ移動到着後、イゼール家へ <アカレン泊>	朝-机内 昼-機内 夕-機内
⑤ 2/21 (月)	アカレン 滞 在	午前		フォルトブルグ市役所を訪問の後、自主研修 *希望者はライン河畔の町、ブライスアッハ見学も可能です。 <アカレン泊>	朝-机内 昼-機内 夕-機内
⑥ 2/22 (火)	アカレン 発 コルマル 発 パリ 着 着	朝 8:32 11:34	TGV2102	ライン川を渡って、コルマルへフランス新幹線でパリへ到着後、パリ市内を地下鉄で見学<パリ泊>	朝-机内 昼-機内 夕-機内
⑦ 2/23 (水)	パリ 発	20:35	KE-902 便	フランス農業祭 SALON AGRICULTURE の見学後、空路、直行便で帰国の途へ[所要/11時間50分、時差8時間進む] <機内泊>	朝-机内 昼-機内 夕-機内
⑧ 2/24 (木)	ソ ウ ル 着 福 岡 着 福 岡 着	15:25 18:25 19:40	KE-781 便	到着後、乗り継いで空路、福岡へ着後、帰国手続き終了後、無事解散	朝-机内 昼-機内 夕-機内

*発着時刻、及び交通機関等はやむを得ず変更になる場合があります。航空会社略号紹介/KE—大韓航空
<宿泊予定先>チューリッヒ ----- コンフォート・イン・チューリッヒ; ブリエントツ近郊 ----- ヴァーラールベルグ農村休暇協会の農家
アカレン ----- イゼール家など; パリ -----メルキュール・モンパルナス

<参加申込書>下記の内容にご記入の上、FAXでお送り下さい。 問合せ先：安心院GT事務局 0978-44-0353

ふりがな	性別	男	生年	大正・昭和・平成	年	(西暦)	年
氏名	性別	女	月日	月	日	(歳)	
住所	〒					電話	
職業	勤務先						

申込〆切：2010年12月末!